

省エネルギー計算書
(標準設計と省エネルギー設計との比較)

建物名称		建物用途	
対象	1. 全館 2. 部		
空調方式			
主要な熱源 機器・容量			

(1) 年間熱負荷係数 (PAL)

1) 申請建築物のPAL :	$\frac{\text{ペリメーターゾーンの年間熱負荷}}{\text{ペリメーターゾーンの床面積}} = \frac{\text{MJ/年}}{\text{m}^2} = \text{MJ/m}^2 \cdot \text{年}$	適用基準 事務所等基準 物販店舗等基準 ホテル等基準 病院等基準
2) 標準設計のPAL :	$\frac{\text{ペリメーターゾーンの年間熱負荷}}{\text{ペリメーターゾーンの床面積}} = \frac{\text{MJ/年}}{\text{m}^2} = \text{MJ/m}^2 \cdot \text{年}$	学校等基準 飲食店等基準 集会所等基準

適用基準の欄は、採用した基準を で囲んで下さい。なお、エネルギーの使われ方が ~ に当てはめ難い場合は、申請者が計算条件を設定して算出してください。あるいはHASP等熱負荷計算プログラムによる算出結果でも結構です。
 標準設計とは、当該建築物で省エネ手法を採用しない場合をいいます。なお、算出根拠は必ず添付してください。

(2) 年間エネルギー消費量

1) 省エネルギー設計の年間エネルギー消費量 (申請建築物全体の消費量)

項目	採用機器システム等 (採用省エネ手法の効果含む)	エネルギー消費量	備考
空調設備		MJ/年	
照明設備		MJ/年	
		MJ/年	
		MJ/年	
		MJ/年	
年間エネルギー消費量 合計		MJ/年 (A)	

2) 標準設計の年間エネルギー消費量

項目	採用機器システム等	エネルギー消費量	備考
空調設備		MJ/年	
照明設備		MJ/年	
		MJ/年	
		MJ/年	
		MJ/年	
エネルギー消費量 合計		MJ/年 (B)	
省エネルギー率		$\frac{B - A}{B} \times 100 =$	%

標準設計とは、当該建築物で省エネ手法を採用しない場合をいいます。なお、エネルギー消費量の算出根拠は必ず添付してください。
 項目欄が足りない場合は適宜追加してください